

Title	地域密着型経営の一考察
Sub Title	
Author	井橋, 英蔵(Ihashi, Eizou) 大藪, 毅
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2004
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2004年度経営学 第1930号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002004-1930">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002004-1930</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	大蔵研究会	学籍番号	80328119	氏名	井橋 英蔵
(論文題名)					
地域密着型経営の一考察					
(内容の要旨)					
<p>地域の社会関係の構造(ネットワーク)に関与して、そこから得られる多様なメリットを享受し成長してきた日本企業は多い。また、グラノヴェッターは、小企業が永続している理由として、その取引関係の上に重なる社会関係のネットワークの重要性を説いた。</p> <p>日本の全企業数の大半を占める中小企業も、上述のように社会関係を活用し、またそれに守られてきたといえる。しかし、多様な環境変化に面して変革を求められているのも事実である。この変革の目的達成のためには、社会関係の再評価とともに、それがヒト(従業員)の行為ひいては組織の変革をどのように左右するのかを把握することが不可欠になる。</p> <p>本研究では、組織の変革に深刻な影響を与える従業員の不正行為(機会主義的行動)に着目した。社会関係のネットワークに積極的に埋め込まれてきたという地域密着型経営独自の文脈から生まれる要素が、組織における機会主義的行動の誘因となっているという仮説を導出し、その行動発生の枠組みを構築した。</p> <p>研究方法としては、まず、地域密着型経営を実践する中小企業の歴史・事象を紐解きながら、企業を取り囲む社会関係の構造・特性を把握した。そして現在の課題である、従業員の機会主義的行動の事例分析を通じて、その社会関係の独自要素が従業員の機会主義的行動の誘因となる枠組みを構築した。</p> <p>最後に、研究を通じて解明した機会主義的行動の発生構造を参考に、地域密着型経営の変革に向けた提言を行うとともに、他企業への応用策を検討した。</p>					